



# めたせこいあ

至 創 努 校  
誠 造 力 訓

島根県立吉賀高等学校 〒699-5522 鹿足郡吉賀町七日市 937  
電話 (0856)78-0029 FAX (0856)78-0742  
HP アドレス <http://yoshika.ed.jp/>

吉賀高校を知っていただく機会

吉賀高等学校 校長 齋藤雅典

今年度から授業が始まった『地域環境科学』（学校設定教科・科目）では、5回の公開講座を予定しています。その第1回は10月23日に行われます。当日は高校生だけでなく中学生も参加する予定です。また、この講座はサクラマスプロジェクト七日市地域会議の支援を受けています。地域の皆様にお出かけ頂けると大変喜びます。

吉賀高校は地域に開かれた学校でありたい、常々このように考えています。しかし、保護者などの一部の方を除いて、多くの方は高校の実情をそれほどご存じないようです。公開講座など、地域の方に学校に来ていただく機会を大切にしたいと考えます。

そうした意味で、先日の「よしか祭」にはたくさんの方にご来校いただきました。心から感謝を申し上げます。文化部などの展示や発表、ディベート合戦、ムービーコンテスト、生徒会企画・有志発表、吉高マーケット、そして体育祭と、生き生きと活動する生徒たちの姿を見ていただきました。また、今年は岡田武史氏の講演会もありました。岡田さんのお話は素晴らしく、貴重な経験になりましたが、そのことに加えて、多くの方に吉高生の姿を見ていただいたことを嬉しく思いました。平成24年度から開始した『聞き書き』や『アントレプレナーシップ教育』などのキャリア教育（『サクラマス・ドリーム・プログラム』）の中で、多くの生徒が人前で発表する経験をしてきました。臆したり、照れたりして、言うべきことを言えないことは恥ずかしいことだ、という意識が浸透してきたのだらうと思います。堂々と司会したり、質問したりする生徒達を誇らしく思いました。

町内の子ども数が減少し、中学校卒業生の数は50人に満たない状況です。吉賀高校が今後も活発な教育活動を続けていくためには、一定数以上の入学者が継続することが欠かせません。そのためには、地域の方にこれまで以上に吉賀高校を身近に感じていただくことが必要です。いろいろな機会に吉賀高校へ足を運んでいただきますよう、お願い申し上げます。

**吉賀高校公開講座**  
テーマ：「森里海のつながり」

**高津川の森と里と海はどのようにつながっているのか？森里海連環学から自然の新しい見方を学ぶ**

講師 **吉岡崇仁(よしおかたかひと)氏**  
京都大学フィールド科学教育研究センター教授・センター長

先生の研究分野は生物地球化学と森里海連環学：有機物などの物質を構成している炭素や窒素などが自然界でどのように動いているのかについての研究。その他、人の環境意識に関する調査研究など。

**日時：10月23日(金)13:40～15:30**  
**場所：吉賀高校(駐車場有り、校内に案内有り)**

**町民の方もぜひ一緒にお聞きください。先生もみなさんの参加を期待しております。**

## よしか祭大盛況！

### 文化祭・吉高マーケット（9月4日～5日）

文化祭1日目には、色組対抗ディベート合戦、ムービーコンテスト、音楽部発表、講演会、地域クラブ発表がありました。文化祭2日目には、吉高マーケット、生徒会企画の「アタック16」、有志によるダンスやムービーの発表がありました。たくさんの地域の方にも来校していただき、吉高生の笑顔がはじける2日間でした。



舌戦が展開されたディベート合戦



盛り上がった音楽部のバンド演奏



地域クラブのプレゼンテーション



茶道部のお茶席も好評でした



たこ焼きもうまく焼けました



人気の焼き鳥は順番待ちに



3年生



2年生



1年生



文化部や委員会の展示も



生徒会企画のゲーム対決



ダンスで沸かせた「Y-Girls」

## 体育祭（9月7日）

雨のため1日順延となつての実施でしたが、吉高生の気合いは十分！どの競技にも全力を尽くし、最終総合得点が1点差という、歴史に残る大接戦を繰り広げました。平日開催になったにも関わらず多くの保護者の方が応援に来て下さったり、吉賀中学校や七日市小学校の生徒児童のみなさんが応援に駆けつけて下さったり、多くの方に応援され見守っていただいていることをいつも以上に実感した1日でした。



竹取物語



綱引き



百足リレー



ミスター吉高



女子騎馬戦



スウェーデンリレー



色別対抗全員リレー



赤組の応援合戦



青組の応援合戦



青組



赤組

## 新振興会バス披露式

9月9日に、新しい振興会バスの披露式が行われました。車体には「小さな町から大きな夢をのせて」というキャッチフレーズ（正中かおりさん考案）と高津川を元気よく跳びはねる「サクラマス」（前田比奈さんデザイン）が描かれています。このマイクロバスは吉賀高校振興会が町の補助金を活用して購入して下さったもので、今後部活動の遠征などで吉賀高校の活性化のために大いに活用していきます。ありがとうございました。



## 食の縁結び甲子園

平成27年度の食の縁結び甲子園(中国・四国大会)に、3年生Ⅱコース、2年生ホームエコノミクスコースの生徒が参加しました。これは、高校生のアイデアによる、各地域の地元食材と島根食材(そば・和牛肉・しじみ)を組み合わせた料理コンテストです。4月よりフードデザインの授業の中で食材やレシピを考案し、2度の調理実習をするとともに、校内選考を経て、代表4チームで応募しました。残念ながら、中四国で10チームの中には入ることはできませんでしたが、吉賀町産のおいしい自然食材にこだわり、見た目も味もアイデア一杯の料理を考案してくれました。

【吉賀高校からの応募チーム】

チーム吉賀（田淵捺姫・房崎真澄・中島羽海）

…ドリア、生春巻き、トマトカップサラダ

あみま（南波三幸・大庭秋穂・藤井摩朗）

…和牛ライスバーガー、蕎麦サラダ、シジミのクラムチャウダー  
悠と悠菜（岡本悠・桑原悠菜）

…和牛ライスバーガー、ロールサラダ、かぼちゃのポタージュ

チームなでしこ（正中かおり・中村菜々美・長峯世玲奈）

…縁結びピザ、サラダ、果物のスムージー



中高一貫教育だより -吉賀地域中高一貫教育事務局(島根県立吉賀高等学校内)-

中高一貫教育コーディネーター 春日 亮二

## よき先輩の姿に触れた「よしか祭」！

9月4日（金）、町内4中学校の生徒が、吉賀高校の学園祭「よしか祭」に参加しました。午前中のディベート合戦や午後の講演会の中で、吉高生のさわやかな、またはきはきとした姿に接し中学生は今後の目標となる高校生の姿をイメージできたのではないかと思います。今後ますます吉賀高校と連携していきたいと思っています。

【講演会の感想を紹介します。（一部省略しています）】

○講演会で一番印象に残ったところは、「目標に向かってチャレンジすること。成功しようが失敗しようが何かを得る。とにかく何かをやってみること」とおっしゃったことです。迷っていても何も始まらないし何も起こらないと思いました。これからの人生いろんなことがあると思うけど、結果を恐れず目標に向かってチャレンジしていきたいです。